

資料6

豆はさみ大会実施案

児童会健康委員会

1 目的

はしの使い方について意識させ、豆はさみ大会への挑戦のために練習させることで、はしが正しく使えるようになることを目的とする。

2 日時 12月2日(水) 児童集会 2・4・6年生  
12月4日(金) 児童集会 1・3・5年生  
(朝の会)

3 場所 体育館

4 実施方法

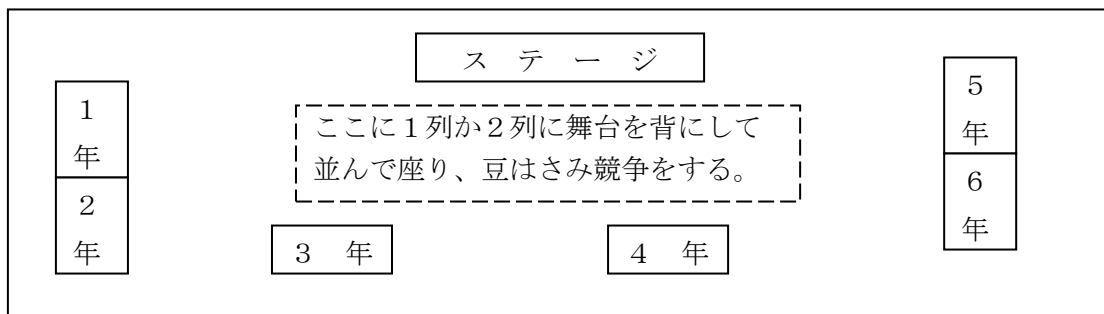
『大会まで』

- ①豆とはしを配るので各自練習をします。
- ②給食後のほみがきの時間の前に時間を設定し、放送により全校一斉にはしの持ち方と使い方の練習をする。(12:35頃～)
  - ※健康委員会の児童が各学級に行き、見本を見せながら指導にあたる。
  - ※はしを使用する日に実施する。(練習日)

11月12日(木) 11月16日(月) 11月19日(木)  
11月24日(火) 11月26日(木)

『大会当日』

- ①進行は健康委員会が行う。
- ②(12月2日と12月4日は朝の挨拶のみ)真ん中に向かって次のように並ぶ。



- ③高学年から行う。(6年→4年→2年)(5年→3年→1年)
- ④時間は30秒とする。(先生方が審判にあたる。)
- ⑤各自の記録をとり、各学年チャンピオンを決める。
  - ※はさんだ数は、自分で数えることとするが、1～3年生については、6年生に数えてもらう。
- ⑥各学年のチャンピオンには、メダルを与え全員で写真をとり、給食用掲示板に掲示する。

※給食だよりに豆はさみ大会の実施についての記事を掲載し、家庭においても正しいはしの持ち方や豆はさみの大会に向けての練習についての関心や実践化を促すようにする。